

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 5 月 13 日(2022.5.13)

【公開番号】特開 2020-182569(P2020-182569A)

【公開日】令和 2 年 11 月 12 日(2020.11.12)

【年通号数】公開・登録公報 2020-046

【出願番号】特願 2019-87090(P2019-87090)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 4 月 30 日(2022.4.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が進入可能な始動口と、

所定の始動条件が成立した場合に所定の抽選を行う抽選手段と、

該抽選手段の抽選結果を表示する表示部と、

前記抽選手段の抽選結果が所定の結果である場合、通常遊技状態より有利な特別遊技状態を発生させる遊技制御手段と、

前記始動口への遊技球の進入を許容する進入許容状態と、当該始動口への遊技球の進入を規制する進入規制状態とを切り替え可能であって、前記進入許容状態において前記始動口が設けられない通路側に進行する遊技球の流下部分に進入して所定の球通路部に沿って遊技球を誘導し、当該進入許容状態に対して後方側に移動することで当該流下部分から外れた位置に配置されて前記進入規制状態をとる構成とされた可動部材と、

30

前記可動部材が前記進入許容状態である場合に前記所定の球通路部に沿って流下する遊技球と接触可能な位置に設けられて、前記所定の球通路部の連続する方向に交差する両側から前記球通路部側へ突出し、両側の突出位置を傾斜方向においてずらして設けられる減速手段とを備えていることを特徴とする遊技機。

40

50